

1 呉市立美術館（本館・別館）の機能配置

現状と課題

- ▶ 「呉市公共施設に関する個別施設計画(令和3年3月)」では、令和14年(2032)年度に建替え方針
 - ・本館は、開館【昭和57(1982)年】から約40年が経過し施設・設備が老朽化
 - ・本館の一部(屋根)が耐震基準を満たしていない状況
 - ・本館の一部が土砂災害特別警戒区域(レッドゾーン)内にあり、対策を講じる必要
- ▶ 展示スペースと収蔵スペースの不足
- ▶ 本館(展示スペース)と別館(ミニギャラリー、収蔵庫)が離れており、美術館の運用上、課題がある

- 美術館本館と別館の機能を集約し、幸町地区内での整備場所を決める必要がある
 - (1) 現在の本館敷地を基本に配置
 - (2) 上記以外の地区内での再配置



2 青山クラブ・桜松館の活用

現状と課題

- ▶ 耐震基準を満たしていない状況
- ▶ 青山クラブの地下フロアのないエリアでは、基礎杭（松杭）が腐食している状況
- ▶ 床版及び梁の許容耐荷重に余裕が無いフロアが確認されている状況
- ▶ 建物の利活用に当たって、アスベストの除去が必要
- ▶ 青山クラブの建物の一部が土砂災害特別警戒区域（レッドゾーン）内にあり、対策を講じる必要

- 配置する機能を踏まえた、青山クラブ・桜松館の整備内容、改修方法の検討
 - (1) 建物の全部保存
 - (2) 一部保存
 - (3) 建替え
- ※(1)または(2)の場合、活用方法に応じた建物の改修方法の検討